

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 『地域インフラ”サポートプラン関東 Ver.3.0』について 新たな取組を加え、『働き方改革』、『生産性の向上』、『工事・業務の品質確保』の取組を支援する整備局独自のプランを公表します

関東地方整備局
企画部

“地域インフラ”サポートプラン関東 Ver.3.0 の 3 つの柱と 15 の取組は、以下のとおりです。

I. 担い手の確保・育成(働き方改革への対応)

1. 災害時の緊急対応の充実強化【新規】
2. 『週休 2 日制適用工事』の取組環境の改善【新規／拡大】
3. 適正な工期設定【新規／継続】
4. 未来の建設産業を支える入札・契約方式の実施【新規／拡大／継続】
5. 『セーフティサポートニュース』の発刊(安全支援ニュースの配信)【継続】
6. 担い手確保を目指す「現場見学会」の開催支援【継続】
7. 技術者の誇りを示す銘板設置【継続】
8. 建設産業の取組支援【新規】
9. 地方公共団体の発注者育成支援【新規】

II. 生産性の向上(i-Construction)

1. 3次元データ／ICT活用工事の支援【新規／拡大／継続】
2. 新技術の導入促進【新規／拡大】
3. 監督・検査事務における受発注者の負担軽減【新規／継続】
4. 『発注者ナビ』の配信【拡大】

III. 建設現場の魅力発信

1. “地域インフラ”サポートプラン関東の Facebook(フェイスブック)の活用【拡大】
2. 建設技術展示館における i-Construction 技術の展示【継続】

※各取組について、詳細が決まり次第、適宜お知らせいたします。

※詳しくは、本文資料(PDF)別添資料と以下のホームページをご覧ください。

“地域インフラ”サポートプラン関東 Ver.3.0

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000023.html>

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [666 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000680.html

2. 「災害時の基礎的事業継続力」新たに 44 社を認定 ～災害対応業務の円滑な実施に向けて～

関東地方整備局
防災室
港湾空港部

【令和元年度第 1 四半期の認定(新規 44 社、継続 45 社)】

国土交通省関東地方整備局は、令和元年度第 1 四半期に新規申請のあった 44 社と継続申請のあった 45 社について、「建設会社における災害時の基礎的事業継続力評価要領」に基づき評価し、認定しました。(認定期間：令和元年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日)

令和元年 7 月 1 日時点で、778 社が認定を受けています。

■「災害時の基礎的事業継続力」認定について

本認定は、建設会社における事業継続計画の策定を促進し、災害対応業務の円滑な実施と地域防災力の向上を目的に建設会社の基礎的事業継続力を関東地方整備局が評価し「災害時の基礎的事業継続力」を認定しているものです。認定は本文資料(PDF)別紙の項目について評価を行い、適合した建設会社に対し、関東地方整備局が 2 年間の有効期限をもつ「災害時の基礎的事業継続力認定証」を交付します。

■今回認定証を交付した企業

本文資料(PDF)別添表参照

■今後の認定スケジュール

四半期毎に評価認定を行います。

次回は令和元年 7 月末迄の申請会社を対象に評価し、令和元年 10 月に認定を行う予定としています。

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [472 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/bousai_00000001.html

3. 川カシャ！2019 ～第 38 回川の写真コンクール～ 写真を通して、新たな「川」の魅力を発見してみませんか！

河川部

当コンクールは、毎年 7 月に実施される河川愛護月間※の一環として、川に出かけ、それぞれの目線で写真を撮影することを通じて、川に興味を持ち、川を大切にしたい気持ちや防災意識を高めていただくことを目的に開催しています。

昭和 56 年から始まり、今年で 38 回目を迎える写真コンクールで、昨年度は、約 7,000 点の作品が集まりました。今年もたくさんの応募をお待ちしています。

※河川愛護月間とは、良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進すると

ともに、国民の河川愛護意識を醸成することを目的として、地域の実情に応じた活動を展開するものです。

■テーマ

「川と人のふれあい」(※日本国内の川・湖沼等を撮影した作品)

■応募資格

関東地方(山梨県、静岡県を含む)に在住または在学中の小、中、高校生


■募集期間

令和元年7月8日(月)～9月13日(金)(消印有効)

詳細につきましては、関東地方整備局ホームページをご参照ください。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index.html>

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1150 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000456.html

4. 河川・防災学習拠点 11 施設シールラリー実施 期間：2019 年 7 月 20 日(土)から 8 月 31 日(土)まで
『水害から命を守る 100 万人プロジェクト』“今夏限定記念イベント” — 河川・防災学習拠点来館者数 100 万人プロジェクト—

関東地方整備局
河川部

関東地方整備局では、関東地方整備局等が所管する河川・防災学習拠点(全 27 施設)を連携させ、来館者数を令和元年度に 100 万人(平成 30 年度約 73 万人)とすることを目指しています。

“今夏限定記念イベント”として、11 施設を対象にシールラリーを 7 月 20 日(土)から 8 月 31 日(土)の期間、実施します。

河川・防災学習拠点の対象施設【11 施設】でシールがもらえます。

対象は、中学生以下(15 歳以下)です。(お一人様一回限り)
夏休みの自由研究にも活用できますので、是非、ご来館下さいませ。


河川・防災学習拠点(全 27 施設)の詳細は↓

河川・防災学習拠点常設 HP & SNS

関東地方整備局ホームページ>河川>地域づくり>河川・防災学習拠点

<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index00000009.html>

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1806 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000458.html

5. 千葉県内の道路冠水注意箇所(アンダーパス部)は93箇所 ～局地的な大雨による道路冠水にご注意下さい～

千葉国道事務所
首都国道事務所

短時間で数十ミリの雨をもたらす局地的な大雨により、交差する道路や鉄道の下を通過する、アンダーパス部の道路では冠水する恐れがあります。

このため、道路を利用する皆様への注意喚起を図るため、「千葉県内におけるアンダーパス部の道路冠水注意箇所マップ」を千葉国道事務所ホームページへ掲載しましたのでご利用下さい。

■道路冠水注意箇所マップ：

http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/chiba_index030.html

■千葉国道事務所ホームページ：

<http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>

■公式ツイッター情報：

https://twitter.com/mlit_chibakoku

道路が冠水している箇所の通行はお控え下さい。安全な道路への迂回、または安全な場所への待避をお願いします。

また、冠水被害を未然に防ぐため、通行止め等を実施することがありますのでご協力をお願いします。

アンダーパス部の道路以外でも、雨水の局地的な集中により、予期せぬ箇所で道路冠水が発生する恐れがありますので、自動車で移動される方だけでなく、歩行者・二輪車の方も十分ご注意下さい。

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1077 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/chiba_00000316.html

6. “地域インフラ” サポートプラン関東 ～「技術者スピリッツ」紹介～

関東地方整備局 企画部

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作ろうと技術者が日々努力をしています。世界に一つだけの工事に携わる技術者に光をあて、関東地方整備局ホームページ (http://www.ktr.mlit.go.jp/gi_jyutu/index00000022.html) にて紹

介しています。
(現在、280 話まで掲載中)

是非ご覧いただき、「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000022.html>

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 「適切な運行管理と安心経営のための ICT 活用ガイドブック」を作成・公表しました。

国土交通省自動車局では、「自動車運送事業の働き方改革の実現に向けた政府行動計画」に基づき、過労運転等による重大事故の発生につながる運転者の長時間労働是正に向けて、運送事業者における適切な運行管理等に役立つ ICT を紹介するガイドブックを「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」において作成し、公表いたしました。


このガイドブックでは、法令で定められた運送事業者が実施すべき事項を示すとともに、実施すべき事項の適切かつ効率的な実施を手助けし、省エネ運転、顧客サービス向上等の経営に役立つツールを紹介しています。

ガイドブックの概要については別紙をご覧ください。

◇ガイドブックは、国土交通省のHPにて公表しています。

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03manual/index.html>

添付資料

[報道発表資料](#) (PDF 形式) 

[別紙](#) (PDF 形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000380.html

2. 高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の実施について

我が国の高速道路においては、休憩施設同士の間隔が概ね 25km 以上離れている空白区間が約 100 区間存在しています。この空白区間を半減することを目指し、現在全国 20 箇所の道の駅を対象に、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」を実施しています。今回、1 年間の利用状況をお知らせするとともに、2017 年 9 月以降開駅の道の駅 3 箇所について新たに追加し、引き続き検証を進めます。

<利用状況>

- もっくる新城が、平日・休日ともに利用台数全国最多
 - 舞ロード IC 千代田など、東西ルートに該当する道の駅では、大型車の一時退出利用が多い
 - 玉村宿などの、観光地域周辺の道の駅では、休日小型車の利用が多い
 - 利用者へのアンケート結果から、「上限時間の引き上げ」や「利用可能 IC の拡大」が期待されている
- 注：小型車…軽自動車・普通車、大型車…中型車・大型車・特大車

<追加箇所>


2017年9月以降開駅の下記の道の駅3箇所について新たに追加（別添資料参照）

- ・道の駅「木更津うまくだの里」（千葉県・2017年10月開駅）
- ・道の駅「みまの里」（徳島県・2018年6月開駅）
- ・道の駅「人吉」（熊本県・2019年8月開駅（予定））

※ 各箇所における実験開始時期については改めてお知らせします

- ・参考資料①：現在実験中の道の駅20箇所における実施状況
- ・参考資料②：今回新たに選定する道の駅3箇所の施設概要
（参考）ETC2.0については、（一財）ITSサービス高度化機構「ETC総合情報ポータルサイト」をご参照ください。
[（http://www.go-etc.jp/etc2/etc2/use.html）](http://www.go-etc.jp/etc2/etc2/use.html)

添付資料

[記者発表資料](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001184.html

3. 大災害への備えに万全を期すため、道路の耐災害性強化に向けた施策の提言

災害時に生命線となる道路について、近年の大災害から得られた教訓と今後講ずるべき施策の検討を行ってきた「道路の耐災害性強化に向けた有識者会議」において、今般、道路の耐災害性強化に向けた提言がとりまとめられました。

「道路の耐災害性強化に向けた有識者会議」は昨年11月に設置され、4回にわたる検討を踏まえ、「道路の耐災害強化に向けた提言」としてとりまとめられました。

提言では、迫る大災害に対し、耐災害性強化の本格実施に向けて、

- ・「発災後の統括的交通マネジメント」実施体制の制度化
 - ・非常時における柔軟な車線運用のメニュー化と共有
 - ・災害に配慮した道路構造令等の見直し
 - ・道路ネットワークの耐災害性評価手法の充実と沿道リスクアセスメント制度の導入
 - ・迅速な復旧に向けたトレーニング強化
 - ・徒歩避難が困難な場合の避難手段の検討
- が示されています。

国土交通省では、提言に盛り込まれた新たな取り組みの実施に向けて、検討を進めてまいります。

○添付資料


- ・道路の耐災害強化に向けた提言（概要）

○参考

道路の耐災害性強化に向けた提言（本文）および、「道路の耐災害性強化に向けた有識者会議」の開催状況、資料等につきましては国土交通省ホームページに掲載しています。

（国土交通省ホームページ）<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/sdt/index.html>

添付資料

[記者発表資料](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001191.html

4. インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト始動！ ～社会実験モデル地区を選定～

インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトにて社会実験を実施するモデル地区5箇所を選定しました。

また、この夏開催される、今だけ、ココだけの旬のインフラツアー全437件をインフラツーリズムポータルサイトに掲載しました。

○国土交通省が平成30年11月に設置した「インフラツーリズム有識者懇談会」では、2020年に向け「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」を立ち上げ、モデル地区での社会実験、国内外への広報、インバウンド対応等に取り組むこととしております。

今般、有識者懇談会の委員にご議論いただき、プロジェクトにおいて社会実験を実施するモデル地区5箇所を選定しました。（別紙1）

モデル地区の選定とプロジェクトの始動に伴い、プロジェクトにて活用するロゴマークを決定しましたのでお知らせします。

○また、この夏、全国で開催されるインフラツアーをインフラツーリズムポータルサイトに掲載しました。

季節ごとに表情を変えるインフラ施設。

夏の魅力大放出のインフラツアーにでかけてみませんか。

インフラツーリズムポータルサイト

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infratourism/index.html>

添付資料

[報道発表資料](#) (PDF 形式) 

[別紙 1](#) (PDF 形式) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000219.html

5. 「海事レポート 2019」を公表 ～海事関連における様々な情報発信～

- 「海事レポート 2019」においては、巻頭特集において「C to Sea プロジェクト」、「海事観光の推進」、「海事イノベーション」、「GHG ゼロエミッション」、「海事産業・海事人材の紹介」、「船員の働き方改革」、「全国からの海・船紹介」など海事分野におけるこの一年の主要な取組について写真やコラムなどを織り交ぜつつ、わかりやすく紹介しています。

- 内容については、国土交通省ホームページよりダウンロードください。

http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk1_000083.html

～「海事レポート 2019」の概要～

○ 特集

- 特集 1. 「C to Sea プロジェクト」推進！
- 特集 2. 海事観光の推進
- 特集 3. 海事イノベーション
- 特集 4. SEA-GOTO (海の仕事)
- 特集 5. 全国からの海・船レポート

○ 海事局主要施策

- 第 1 章. 海事生産性革命 ～i-Shipping と j-Ocean～
- 第 2 章. 安定的な国際海上輸送の確保
- 第 3 章. 内航海運、内航フェリー・旅客船の活性化
- 第 4 章. 地域経済を支え、世界と戦う造船業・船用工業の振興
- 第 5 章. 次世代を担う海事人材の確保・育成
- 第 6 章. 国際基準等を踏まえた総合的な環境対策・海上安全の推進
- 第 7 章. 海事振興・海洋教育の推進

添付資料

[報道発表資料](#) (PDF 形式 : 291KB) 

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01_hh_000458.html